

## 新規 市職員向けの取組

男女共同参画推進事業の市職員向けの取組として、今年度は以下の2つの事業を実施しました。今後も、市職員の男女共同参画への理解と意識向上のため、事業に取り組んでまいります。



### 性の多様性を尊重するための真岡市職員ガイドライン作成

男女共同参画社会は、すべての人が活躍できる社会を目指すこととしていますが、「性的指向・性自認」に関して差別や偏見がある中、正しい理解と適正な対応が求められています。そのため、職員向けに基礎的知識や対応方針についてまとめたガイドラインを作成しました。



### 男女共同参画の視点からの防災研修実施

女性視点での災害対応の強化を図るため、避難所担当職員等を対象とし、防災対策における女性視点の重要性について学習する機会を設けました。2020年から現在まで、内閣府男女局防災研修プログラム改訂検討会座長を務める日本大学危機管理学部准教授鈴木秀洋氏をお招きし、研修を実施しました。

### 男女共同参画窓口のご案内

真岡市 総合政策部 市民協働推進室  
住所 〒321-4395 真岡市荒町5191番地 庁舎3階  
時間 8:30～17:15(年末年始、土・日・祝日を除く)  
電話 0285-83-8141 FAX 0285-83-5896  
メール shiminkyoudou@city.moka.lg.jp



### ●ご感想をお待ちしております●

ここまでお読みいただき、ありがとうございます。今後の男女共同参画推進事業の参考にさせていただきますので、本紙の感想をぜひお送りください。郵送、メールで受付のほか、右のQRコードからもお送りいただけます。



【発行】真岡市長 石坂真一

【編集】真岡市 総合政策部 市民協働推進室 〒321-4395 真岡市荒町5191番地

## 真岡市男女共同参画情報紙(年1回発行)

# US

(アス)

2023.3 第12号

『～ともに ささえあうために～』

### 情報紙の名前の由来について

2013年3月発行の第2号から、公募によって名前がus(アス)になりました。英語で「わたしたち」を意味するus。また、uは理解(understand)、sは支える(support)の頭文字であり、男女共にお互いを理解し、支え合うことが重要であるという意味をかけています。更に、日本語の「明日」の音とも重なり、明るい未来を感じる名前に決めました。



### 子育て世代交流会 ～パパと子の体験教室&交流会～ (P3関連記事)

令和4年9月25日に、第2回子育て世代交流会「家族に作ろう!お菓子作り教室」～パパと一緒にアイシングクッキー作り～を実施しました。総勢34名(17組)の親子が参加し、砂糖でできたクリームを使って、クッキーにデコレーションをしました。また、クッキー作りの後には、パパ同士の交流会を実施し、自宅での家事分担などについて意見交換を行いました。

# 令和4年度男女共同参画推進事業

令和4年度は、第4次真岡市男女共同参画社会づくり計画の初年度として、以下のような事業内容を実施しました。今後も、男女共に、誰もがあらゆる場面において、自らの選択に基づき、自信とやりがいをもって多様な役割を果たし活躍できる社会に向けて、事業に取り組んでまいります。

※第4次真岡市男女共同参画社会づくり計画は、市ホームページからご覧いただけます。

(🌱 は、令和4年度の新規事業 🌸 は、内容をリニューアルした事業)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
🌱 第4次真岡市男女共同参画社会づくり計画スタート		🌱 女性異業種交流会	・第1回男女共同参画審議会 ・おとう飯「俺のそば打ち」体験教室	🌱 第1回子育て世代交流会 (家事シェア座談会)	🌸 男女共同参画セミナー (真岡工業団地総合管理協会共催) 🌱 第2回子育て世代交流会 (アイシングクッキー作り)	🌱 第3回子育て世代交流会 (ミニサッカー教室) 🌱 職員ガイドライン発行	・第2回男女共同参画審議会	🌸 ・男女共同参画推進事業者表彰式 ・家族の家事・育児シェアエピソード表彰式 ・男女共同参画社会づくり講演会		🌱 防災研修 (市職員向け) 男女共同参画の視点からの	・男女共同参画情報紙Us(アス)発行

## 新規 女性異業種交流会

働く女性のワーク・ライフ・バランスの推進に向けて、「女性異業種交流会」を実施しました。市内在住または勤務の女性24名が参加し、講師による「アンコンシャス・バイアス」の講義のあと、参加者同士がそれぞれの職場環境や働き方について、意見交換を行いました。



グループワークの様子です。テーマに従って、それぞれの意見を交換しました。



交流会前の緊張をほぐすために、アイスブレイクとして、「働き方改革カルタ」を行いました。



最後に、参加者全員で集合写真を撮りました。様々な業種の24名の女性に、参加いただきました。

## 新規 子育て世代交流会 ～パパと子の体験教室&交流会～

子どもを持つ父親同士の交流を通して、男性の家事・子育て参加の促進や、男女共同参画への意識啓発を行う目的で、3回にわたり「子育て世代交流会～パパと子の体験教室&交流会～」を実施しました。



第1回目は、「家族で家事シェア座談会」～ご夫婦で家事・育児について改めて話をしてみよう～ということで、各メディアで取材・講演実績多数のNPO法人tadaima! 代表理事・三木智有(みき ともあり)氏をお招きし、ワークショップ形式座談会を実施しました。「家事シェアとはなにか?」「家事シェアのコツ」について意見交換を行いました。



第2回目は、「家族に作ろう!お菓子作り教室」～パパと一緒にアイシングクッキー作り～を実施しました。(※表紙写真と同じ)親子2人で協力しながら、クッキーにデコレーションをしました。お菓子作りが初めてのお子さんでも、楽しく参加することができました。



第3回目は、「スポーツの秋、ミニサッカー教室」～広いグラウンドでパパとサッカーに挑戦～を真岡市総合運動公園にて実施しました。親子でボール運び競争や、手をつないでじゃんけん大会等を行い、その後、ドリブル・シュート練習・ミニゲームを行いました。

## その他の男女共同参画推進事業



🌸 家族のためにはじめよう「おとう飯(はん)」料理教室～俺のそば打ち!! 体験教室～

男女共同参画社会づくり推進の取組として、料理作りにチャレンジしてみようという男性の料理教室を開催しました。市内在住の男性5名が参加し、「そばの打ち方」を学びました。



🌸 男女共同参画セミナー(真岡工業団地総合管理協会共催)

NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也氏をお迎えし、「イクボスで職場が変わる～男女ともに活躍できる、選ばれる職場となるために～」と題して、企業の方々を対象に講演をいただきました。



男女共同参画地域座談会

桜町公民館にて、男女共同参画地域座談会を実施しました。地域の皆さんにお集まりいただき、市民協働推進室から男女共同参画についてお話をさせていただきました。地域座談会の実施については、市民協働推進室までお問い合わせください。

## 家族の家事・育児シェアエピソード表彰

普段から家庭内で家事、育児、介護等を協力し、シェアしているご家族の皆さんから、「家族が笑顔に!我が家の家事・育児シェアの写真とエピソード」を募集しました。

今年度は、以下の3名の方々が各部門の大賞となり、市民“いちご”ホール(真岡市民会館)において、「我が家の家事・育児シェアエピソード表彰式」を行いました。



※その他、ご応募いただきましたエピソードは、市ホームページからご覧いただけます。



### パパの家事エピソード部門大賞 すがわら まさひろ 菅原 雅寛 様

共働きなので、機械的に家事を分担するのではなく、得意なこと、苦手なことを知って対応するのが合理的と判断。朝型人間なので最低限の量とクオリティを意識しながら、洗濯物を畳んだり、朝食の準備をしたりと、早朝の家事を担当しています。子どもがお弁当の日ももちろん対応します。いまでは子どもたちと一緒に料理をするのも楽しみです。



### パパの子育てエピソード部門大賞 さくらい みょうこ 櫻井 妙子 様

パパが長男の上履きに“カレーパンマン”を描いてくれました☆カレーパンマンが大好きな長男は大喜び!! 長男は3歳頃からイヤイヤ期なのか、パパに反抗しちゃったり色々大変でした…。パパも長男との関係に悩んできたと思います。絵が得意なパパ、素敵な上履きありがとう!長男も4歳になり、少しずつ穏やかに?なってきました!!この上履きで、パパの株も上がったね!



### 家族の協力エピソード部門大賞 やなぎ のりこ 柳 徳子 様

亭主関白宣言15年後にカジダンイクメンに。家事育児は、女がやるものと協力してくれなかった夫に転機が。長女が学校で怪我、本人の希望で真岡から宇都宮病院に搬送。介護は私の姉に依頼した娘。治ってから二人で反省。娘に頼られる父母になろうと、けんかしながらも仕事分担。  
夫 1.朝、子供の送り 2.朝食  
私 1.夕方、子供のひきとり 2.夕食 3.掃除  
買い物は一緒。休日の片付けは、二人の娘が担当。嫁いだ先の二人の娘は整理整頓上手。帰省には片付けして帰る。私、断捨離無理。夫は孫も預かったりもする。言葉は三つ「ありがとう」「助かるわ」「幸せ」よくしつめたなああと自画自賛あり。「おいしいちゃんの作るカレー大好き」と孫も言う。

## 男女共同参画推進事業者表彰

真岡市では、市内事業所において男女共同参画の取組を促進するため、積極的に社内取組を行っている事業者を表彰し、広く市民や事業者の皆さんに紹介しています。

市民“いちご”ホール(真岡市民会館)において、「真岡市男女共同参画推進事業者表彰式」を行い、今年度は以下の2事業者が表彰されました。



(右)有限会社ハヤセ 代表取締役 西川 和芳 様  
真岡市鹿1654 (総合建設業)

(左)株式会社ホンデン製作所 代表取締役 齊藤 敏彦 様  
真岡市柳林505 (プラスチック製品製造業)

※上記企業の取組内容については、市ホームページからご覧いただけます。



## 男女共同参画推進事業者表彰制度にご応募(ご推薦)ください

### Q1.対象事業者は?

A1.男女が共同して参画することのできる環境づくりのための取組を行っている市内の事業者(企業、個人事業者、NPO法人、自治会、PTA、市民団体等)が対象です。企業規模、従業員数は問いません。

### Q2.表彰されると、どんな効果があるの?

A2.表彰を受けた事業者の取組については市の広報、男女共同参画情報紙、ホームページ等に掲載し、広くPRします。仕事と家庭の両立支援や女性の登用に積極的に取り組んでいる企業や団体であることをアピールでき、事業者のイメージアップにつながります。

※詳細については、市ホームページをご覧ください。  
お電話でのお問い合わせも承ります。市民協働推進室(0285-83-8141)



## 男女共同参画社会づくり講演会

真岡市では、真岡市PTA連絡協議会・真岡市子ども会育成会連絡協議会との共催事業として、男女共同参画社会づくり講演会を実施しています。

今年度は、東京大学大学院教授 瀬地山 角(せちやま かく)氏をお迎えし、「男の家事が社会を救う?!笑って考えよう!家庭のこと、仕事のこと」と題して講演をいただきました。当日は、関係者を含め約350名が市民“いちご”ホール大ホールに集まりました。

